

---

---

## 平成27年度第6回 日進市地域公共交通会議 資料

---

---

### 【議題】

(1) くるりんばすの料金体系の改定について ……P 1

(2) 平成28年度歳入歳出予算について ……P 2

### 【その他】

利用促進策について ……P 3

平成28年3月31日

# 議題（１）くるりんばすの料金体系の改定について

日進市内巡回バスの料金改定の基本的な考え方

平成28年3月  
日進市

## 1 経緯

日進市内巡回バス「くるりんばす」は、平成8年4月から「公共施設巡回バス」として、公共施設への利便を高めるべく週2日の試験運行を開始、平成11年度に愛称を「くるりんばす」とし、平成13年から本格運行を開始した。平成11年当初は無料であったが、平成13年から段階的に有料化を進め、平成17年4月から65歳以上有料化、平成21年4月より中央線の運行開始に伴い、現状の料金体系となっている。

平成27年4月に策定した日進市地域公共交通網形成計画では、持続可能な公共交通体系の構築を基本方針の一つとして定めており、市の財政状況に鑑み、これを実現に移すため現在策定中の再編実施計画の中において、平成29年4月から料金体系を改定する。

## 2 改定に向けた考え方

### (1) 受益者負担率の適正化

利用者の受益者負担率は、平成28年度見込みで15.42%（収入は平成26年度実績。中央線を除く。）日進市行政改革大綱（平成16年度策定）に基づく「公共料金の基本的な考え方」における受益者負担率の分類において、くるりんばすは、非市場的サービスかつ必需的サービスであることから、分類Iである25%とされた。また、平成28年度4月には、同考え方が改定される。

これを受け、第2次日進市経営改革プランにおいても、くるりんばすの受益者負担率の目標値を25%としている。

※ 現状：100円（15.424%） → 目標：186円（25%）  
 $(160,641,822 * 0.25) / \{ (414,431 - 51,754) * 0.594 \} = 186.41$   
 H28 7コース運行経費                      7コース利用者 乗継券利用者                      有料化率

### (2) 運行経費の増加

くるりんばすの運行経費は毎年増加をしており、平成26年度 1億7,543万円、平成27年度 1億8,261万円、平成28年度 1億8,342万円の見込となっている。一方、近年市予算における民生費の割合が著しく増大していることから、運行にかかる予算の拡大は困難である。

### (3) 車両の更新

くるりんばすの車両は平成17年度から順次導入されたもので、多いものでは79万km（H28.1月末現在）走行している状況である。今後、これらの車両について、安全性の確保や修理費用の抑制のために順次更新を行うが、車両1台あたり約2千万円の経費が必要となる。

### (4) 民間バス路線料金

名鉄バスの料金は、対距離料金（170円～）、また、くるりんばすと一部重複路線が存在する名古屋市交通局の市バス料金（一律210円）となっている。

### (5) 効率性

定期外収入のうちICカードの構成比率は50%台であり、依然として現金での支払の割合が高いことから、ワンマンバスとしての運行上、100円単位が効率的である。

### (6) 健康づくり・介護予防の推進

部局連携による事業効率化の観点から、「健やか にっしん宣言」の理念の実現に向け、高齢者等の外出機会を支援し、健康づくり・介護予防を推進すること等を目的とした優遇措置を行う。

### (7) 料金改定に伴う対応

高頻度の利用者等について、料金改定により急激な負担増が発生しないよう、必要な措置を講ずる。また、通院費の負担が大きい通院者等、医療受給者証の交付を受けているものについて新たに無料対象とする。

## 3 改定後の料金体系（案）

- (1) 一般 一乗車 200円（ただし、循環線は、100円）
- (2) 児童生徒 一乗車 半額 → 子育て支援・福祉的対応により、引き続き無料
- (3) 定期券

区分	1か月	3か月 <sup>※1</sup>	割引率	6か月 <sup>※1</sup>	割引率
一般（64歳以下、市外65歳以上）	6,000円	17,000円	5%	32,500円	10%
学生（高校・大学） <sup>※2</sup>	4,000円	11,000円	8%	20,000円	16%
高齢者（市内在住の65歳以上） <sup>※3</sup>	1,200円	3,000円	16%	5,000円	30%

<sup>※1</sup> 3か月・6か月定期は、にぎわい交流館限定で販売（今後、販売場所の拡大を検討）

<sup>※2</sup> 学生定期券は、購入の際、学生証の提示が必要（市外在住でも購入可）

<sup>※3</sup> 高齢者定期券は、住所及び年齢確認の出来る身分証明書の提示が必要

- (4) 回数券 100円券24枚綴り2,000円

- (5) 無料対象 次の市内在住の方

- ア 中学生以下のこども
- イ 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付き添いの方1名
- ウ 介護保険法による介護認定を受けている方（要支援含む）と付き添いの方1名
- エ 日進市運転免許自主返納支援事業実施要綱第4条の対象となる方
- オ その他特に市長が認めた者。

- (6) 新規無料対象者

- (5) ア～ウに該当しない者で、下記の必要な証明書を所持する者を無料対象者に加える。

区分	必要な証明書等	対象
要支援に準ずる者 <sup>*</sup>	介護保険証	本人及び付添いの方1名
ひとり親家庭	ひとり親家庭等医療費受給者証	本人
その他障害者等	障害者医療費受給者証、又は、後期高齢者福祉医療費受給者証	本人及び付添いの方1名
精神通院医療	自立支援医療費（精神通院医療）受給者証	本人及び付添いの方1名

<sup>\*</sup> 「要支援に準ずる者」は、基本チェックリストの該当者を指す。

なお、(5) イ、ウ及び新規の無料対象者には、外出を促し健康づくりに寄与する内容を記載した無料パスカードを交付し、利用促進を図るとともに、健康づくりへの自覚を促す。

- (7) 乗継券

廃止する。（全便市役所同時帰発着ではなくなり、運用が困難となるため）  
 代替施策：全年齢定期券の導入により、一定頻度以上の利用者は乗継券が不要となる。

## 4 料金改定までの流れ

- (1) 市における再編実施計画の検討（運行事業者の決定）
- (2) 地域公共交通会議における協議料金の承認（28年3～4月）
- (3) 市における再編実施計画の策定（28年4～6月）
- (4) 国土交通大臣への提出及び承認（28年4～6月）

## 議題（２）平成２８年度歳入歳出予算について

### 平成２８年度日進市地域公共交通会議 歳入歳出予算書（案）

平成２８年度日進市地域公共交通会議の予算は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算）

第１条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ 3,115 千円と定める。

２ 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第１表 歳入歳出予算」による。

３ 歳出予算の各科目の予算額に過不足が生じた場合、相互に流用できるものとする。

平成２８年３月３１日提出

日進市地域公共交通会議 会長 松本 幸正

#### 第１表 歳入歳出予算

##### 歳入

（単位：千円）

款	項	当初予算額	摘要
１ 負担金	１ 負担金	3,113	
２ 補助金	１ 国庫補助金	1	
３ 繰越金	１ 繰越金	0	
４ 諸収入	１ 諸収入	1	
合計		3,115	

##### 歳出

（単位：千円）

款	項	当初予算額	摘要
１ 事務費	１ 会議費	713	報償費、食料費 契約印紙代、振込手数料
２ 事業費	１ 事業費	2,400	計画推進事業
	２ 精算金	1	精算金
３ 予備費	１ 予備費	1	
合計		3,115	

# その他 利用促進策について

## (1) 利用者が利用しやすいバスの運行サービスの提供

	公共交通利用に係る積極的な情報提供	わかりやすいバス系統表示	わかりやすい運行情報・乗継情報の提供
<p>具体的な取り組みの事例</p>	<p>・乗継拠点における総合案内板の設置 【安城市 主要駅での総合案内板の設置】 主要な鉄道駅にバス路線図と観光案内が一体となった総合案内板を設置している。</p>  <p>・バスマップ及びわかりやすいダイヤ表示 【東郷町 住民と大学生が協力したバスマップの作成】 住民と大学生がワークショップ形式にて協力してバスマップを作成した。</p> 	<p>・わかりやすい系統名・バス停名の設定 【各務原市 運行地域がわかりやすい系統表示】 路線再編に伴い運行地域がわかりやすい系統表示に見直しを行った。</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;"> <p>(リニューアル前)</p> <p>西部・鵜沼線 東部・南部線 北部・川島線 循環休日線</p> </div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 20px;">➔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(リニューアル後)</p> <p>那加線 稲羽線 川島線 蘇原線 鵜沼線 東西線</p> </div> </div> <p>・バス車両、バス停等への系統表示 【瀬戸市 バス系統表示と乗継案内】 利用者にわかりやすいようバス系統表示と乗継案内を工夫している。</p> 	<p>・乗継拠点におけるわかりやすい乗継情報の表示 【安城市 主要バス停での乗り継ぎ情報の提供】 主要バス停に設置されているディスプレイにバスロケーションシステムと連動した運行ダイヤや乗継情報が映し出されている。</p> 

(資料；安城市総合交通会議資料、東郷町ホームページ、各務原市ホームページ、瀬戸市ホームページ)

(2) 利用促進を誘導する施策

	免許返納に向けた環境整備と制度の拡充	モビリティ・マネジメントの実施	市民サポーター制度の導入の検討	乗継・待合・乗降環境の改善
<p>具体的な 取り組みの事例</p>	<p>・免許返納者に対する優遇措置 【各務原市 運転免許返納者へのICカード交付】 交通系ICカード3,000円分を運転免許自主返納者へ交付している。</p> 	<p>・転入者、大学生等を対象にした路線図・時刻表の配布の推進等 【浜松市 転入者向けモビリティ・マネジメント】 転入者に対し路線図や時刻表に加え、啓発冊子やバスの乗り方を説明した資料を配布している。</p>  <p>・小学生を対象としたバスの乗り方教室 【佐賀県佐賀市 佐賀市営バス】 安全なバスの待ち方、行き先表示の見方についての説明や、バスへ実際に整理券をとって乗りこみ、車内でのマナー、優先席・車いす固定スペースの仕組み、運賃表の見方、降りるときに気をつけることなど、基本的なバスの乗り方を学習する。</p> 	<p>・市民サポーターによる利用案内、乗り降りの補助等 【岐阜県岐阜市 みどりっこバス】 地元住民のボランティアがヘルパーとしてバス車内に乗り込み、チケットの受け渡し、乗り降りの手伝い、手荷物の手伝い等、利用者の援助を実施している。</p> 	<p>・乗継拠点等における乗継・待合環境の改善 【安城市 乗継拠点の待合環境整備】 コミュニティバスの乗継拠点である安城更生病院のバス停にはヒーター設備や乗り換え情報のディスプレイが整備されている。</p>  <p>・駅前駐輪場の整備 【小牧市 主要バス停の駐輪場整備】 中央道桃花台バス停には、屋根付きの自転車駐輪場が設置されている。自転車駐輪場には防犯カメラが設置されている。</p> 

(資料；各務原市ホームページ、中部運輸局地域公共交通の確保・維持・改善に向けた利用促進策事例集、佐賀市交通局、芥見東自治会連合会ホームページ、安城市総合交通会議資料、小牧市ホームページ)

(3) 地域づくりと一体となったバスへの愛着（マイバス意識）を高める方策

	関係機関との連携によるバス利用促進	企業と一体となった取組	市民による各種活動の実施
<p>具体的な 取り組みの事例</p>	<p>・市の各種イベント時におけるバス利用促進のキャンペーン 【各務原市 産業農業祭におけるバス PR イベント】 市が主催する産業農業祭において、バス PR のためのブース出展やバス車両の展示が行われた。</p>  <p>・商業・観光振興や環境保護を目的とする関係団体と連携 【名古屋鉄道・名古屋市交通局 ウォーキングイベント】 名古屋鉄道が定期的開催している「名鉄のハイキング」と名古屋市交通局が定期的開催している「駅近ウォーキング」のタイアップ企画が共同で開催されている。</p> 	<p>・バスの車内広告やバス停のネーミングライツ等、企業と一体となった取組の実施 【日進市 地元商店とタイアップしたラッピング】 市と地元の商店がタイアップし、地元の名産品である「にっしんセレクト」等のラッピングにくるりんばすの絵柄が印刷された紙箱を使用する。</p>  <p>【岡崎市 「まちバス乗車券」をプレゼントする取組み】 加盟店はコミュニティバスで訪れた来店者に対し、次回の「まちバス乗車券」をプレゼントしている。また、加盟店の広告をかねた紹介マップも作成している。</p> 	<p>・バスを活用したイベントの開催等 【岡崎市 額田地域下山地区】 地元住民がコミュニティバスを利用したウォーキングツアーを企画して、市街地から人を呼び込むとともに、地元住民が地域の資源を再発見し、みんなでバスを利用して出かけようという啓発につながっている。</p>   <p>・利用モデルダイヤの作成 【安城市 マイ時刻表の作成】 乗降バス停やバスの時間、乗継場所など自分の行動にあった自分だけの時刻表を作成し、普段から持ち歩いてもらうことで利用促進を図る。</p> 

(資料；各務原市、名古屋鉄道ホームページ、名古屋市交通局ホームページ、中部運輸局地域公共交通の確保・維持・改善に向けた利用促進策事例集、安城市)